

研究分野のキーワード：魅力的な道徳教材の開発，子どもを育てる学級づくり，子どもが夢中になる授業づくり，子どもが育つ学校づくり，授業に生かす教科書研究

研究紹介

## おもしろい素材を発見して授業を創る

右の写真を見てください（写真1）。

ある駅のトイレです。

ここで、おもしろいものを見ました。

貼り紙です（写真2）。

空欄の中には、どんな言葉が入っていたと思いますか。

実は、次のような言葉が入っていました。

「ゴミ捨て場」

こんな貼り紙を見たら、うれしくなります。

「これはおもしろい教材になるぞ」

と思うからです。

この貼り紙は、発見した2日後、さらにおもしろいことになっていました。何と、赤い線で囲まれて、言葉が強調されていたのです（写真3）。

さて、この貼り紙は、どんな教科の教材になるのでしょうか。

それは、道徳です。

道徳というと、おもしろかったという記憶が残っている人は少ないのではないのでしょうか。大学院に来ている学生の中には、小中学校のころの道徳は、何も覚えていないと言う人もいるくらいです。生き方を考える大切な学習なのに、あまり覚えていないという学生が多いのです。

そこで、私は、子どもの心に響くような道徳の授業を開発したいと考え、身の回りで発見した素材を活用して、道徳授業の開発をしているのです。

この貼り紙で、どのような道徳の授業を創ることができるのでしょうか。

「ゴミ捨て場ではありません」という言葉から、このトイレがどんな状況にあるのか、想像できますね。しかも、2日後には、赤い線で囲まれていたわけです。このあたりが道徳授業を創るヒントです。

おもしろい素材は、身の回りにたくさん隠れています。

それを見出し、子どもたちの目が輝く授業を創ること。それが私の研究です。

写真1



写真2

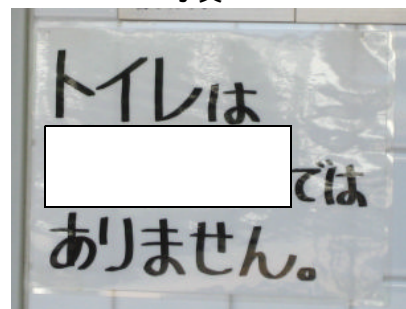


写真3

